

創 刊 の 辞

近づきつつある21世紀は、民族と宗教の時代である、といわれる。たしかに、冷戦構造が瓦解したいま、世界熱核戦争の可能性は消失した。ところが、旧ソ連で、アフリカで、中東で、バルカンで、アジアで、すさまじい勢いで、ナショナリズムが噴出しはじめ、教義の正統性をめぐって、血を血で洗う相剋がおこっている。これらの争いは、国境をめぐり、あるいは、一寸の領土をめぐること起因することが多い。しかし、古典的ともいえるこの種の衝突をこえて、いま、地球全体の運命が危機におちいつている。環境破壊の深刻化という問題を直視しないわけにはいかない。

国境を越える思想とは、手垢のついてしまったインタナショナリズムの蘇生ではなく、まさしく、地球大規模で、環境問題をとらえることから始まらなければならない。同時に、このような視点は、ミクロの状況から、言葉をかえれば、自分のよってた日常生活から問題をとらえなおすことが要求されているといわねばならない。

グローバルな視点と、日常生活上の視点、この2つの視点の交錯のなかで、はじめて環境問題は、新たな地平をきりひらけるのである。

この機関誌は、環境情報研究所の創設にともない、そこに蛸集する研究員たちの研究の諸成果を世に問い、環境問題に関するユニークな視点と考察の結果によって、迫りつつある地球環境の崩壊という危機から、人類を脱出せしめようという、野心的希望を底にひめて、刊行されるものである。諸者の心からなる御支援と、きびしい御批判をお願いしたい。

1993年 3 月

学 長 菊 地 昌 典